

## ■さらなる安全性の向上

- 暫定2車線区間は4車線区間に比べて、事故が発生する割合や死亡事故となる割合が高く、事故発生時に通行止めとなる割合も高くなっています。
- 4車線化により中央分離帯を設置し、対向車線への飛び出しを防止することで、安全性の向上が期待されます。

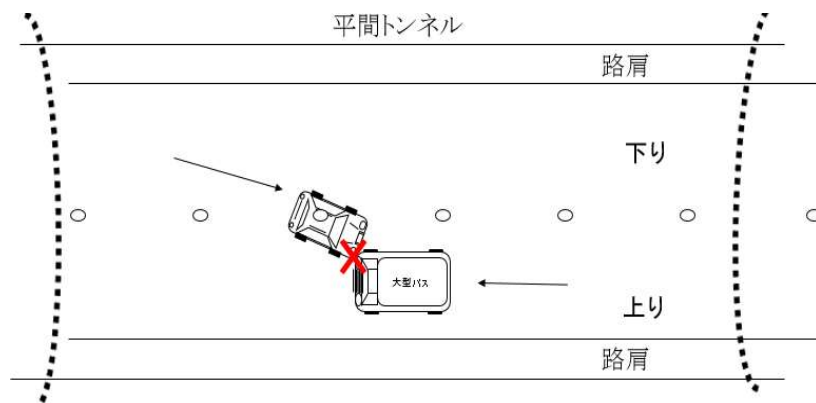
### ●交通事故による通行止め事例

発生日) 平成28年5月25日

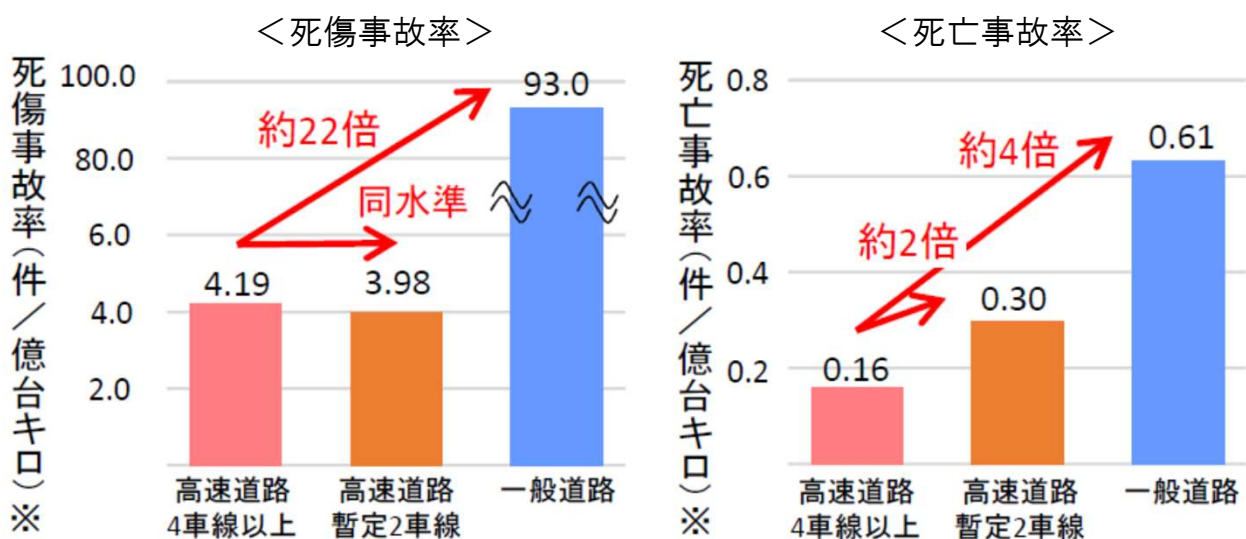
発生場所) E34 長崎自動車道(長崎芒塚IC～長崎多良見IC)

事故概要) 下り線を走行していた車両が対向車線(上り線)へ飛び出し、上り線走行中の大型バスへ衝突したものの。

4時間45分の通行止め



### ●暫定2車線と4車線以上の事故率



※ 高速道路：高速自動車国道(有料) (H25)  
一般道路：H25

出典 道路分科会第13回事業評価部会(H28.3.10)

4車線化により中央分離帯が設置されることで、安全性が向上